

令和 8 年 3 月 16 日

## あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 [REDACTED]  
団体名 ながはま地域猫の会  
代表者氏名 本田 智夏  
電 話 [REDACTED]  
担当者名 [REDACTED]  
担当者連絡先 [REDACTED]

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第 13 条の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

1. 交付決定年月日 令和 7 年 9 月 9 日  
交付決定番号 協 働 第 1613 号
2. 事業名 ながはま地域猫の会
3. 補助金の交付決定通知額 273598 円
4. 補助金の概算交付額 0 円
5. 補助金の精算額 273,598 円
6. 事業の成果

・飼い主のいない猫を約 20 頭保護し、譲渡会や SNS を通じて里親探しを行った。  
・飼い主のいない猫に対し、約 20 頭に投薬等を行った。  
・適切な猫の飼い方や、手術の必要性、地域猫について、自治会を通じて長浜小学校区に新聞を回覧、イベントへの出店、または SNS を通じて市内全域に啓発を行ったことで、ボランティアに参加する人や正しい知識をもった人が増えた。

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書  
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書  
(3)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団体名	ながはま地域猫の会			
事業名	ながはま地域猫の会			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	<input type="checkbox"/> 市内全域 <input checked="" type="checkbox"/> 大分中央 <input type="checkbox"/> 大分東部 <input type="checkbox"/> 大分西部 <input type="checkbox"/> 大分南部 <input type="checkbox"/> 南大分 <input type="checkbox"/> 鶴崎 <input type="checkbox"/> 大南 <input type="checkbox"/> 植田 <input type="checkbox"/> 大在 <input type="checkbox"/> 坂ノ市 <input type="checkbox"/> 佐賀関 <input type="checkbox"/> 野津原 <input type="checkbox"/> 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過 等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	①随時	①市内	5000 人	①・年間 40 頭以上の飼い主のいない猫の保護および病気の治療を行った。 また、新入り猫の動向や地域猫のトラブルについて見回りを行い必要な対応を行った。
	②随時	②市内	100 人	②市内全域からの相談にメール・電話・実地にて随時対応しトラブルを解決した。
	③年間 12 回	③市内	5000 人	③回覧板「ながねこ通信」を自治会を通じて長浜小学校区に回覧。地域の人々の知識のアップデート、地域猫の啓発、適正飼育の啓発を行った。
	④8 月、11 月、12 月、2	④市内	5000 人	④長浜公民館で「ながねこ夏祭り」、大分市「NPO 博」、「猫マルシェ」、クラサドームでの「あまおう」イベント、地域で他グループと実施した「猫とバザー」および自主開催の譲渡会にて、ステージ発表、出店、ポスター掲示、対話などによる啓発活動を行った。
⑤随時	⑤市内	5000 人	⑤保護した猫の里親探しとして SNS の更新を毎日行うほか、市内にポスター掲示、譲渡会の定期実施をし譲渡することができた。町の中で飼い主のいない猫を減らすことに繋がり苦情の減少に繋がった。	
使用した 広報手段と その効果	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> チラシ、広報誌 <input checked="" type="checkbox"/> facebook 等の SNS <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に) イベントに精力的に参加する中で対面での啓発活動を実施。			
	広報の効果 ・インスタグラムはフォロワー数 1000 人を突破、地域猫に関する相談なども更に入ってくるようになった。 ・SNS だけではなく紙媒体である「ながねこ通信」を毎月必ず発行することで、様々な年齢層に情報を届けることができた。 ・イベント出店を精力的に行いボランティア作成によるグッズ販売を行ったことで収入を確保した。また対面での啓発活動になり、新たにながねこ通信を貼る許可をいただける等、地域の活動としての認知が進んだ。			
活動目標の報告	会費収入、事業収入や寄付金収入等の自己収益金の拡大、参加市民等の受益対象者の増加目標に取り組んだ結果 ・SNS や紙媒体による広報、イベントでの啓発活動を通じて活動の認知が広がり、寄付や協力の申し出が増加した。 ・地域からの相談件数も増え、地域猫活動への理解が広がるなど、地域と連携した活動体制の強化につながった。			

<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（対象地域にどのような効果があったのかを記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼い主のいない猫の保護、治療、里親探しを継続的に行うことで、地域における猫の適正管理の推進および総数が減ることでの町の美化につながった。</li> <li>・地域住民からの相談を受けながら対応することで、無秩序な餌やりや繁殖によるトラブルの未然防止につながった。</li> <li>・回覧板「ながねこ通信」やイベントでの啓発活動を通じて、地域猫活動や適正飼育についての理解が地域内で広がった。</li> <li>・地域住民や自治会と連携しながら対応を進めることで、地域ぐるみで見守る体制の基盤づくりに繋がった。</li> </ul> <p>市民への効果について（市民福祉の向上にどうつながったのかを記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS や紙媒体を通じた情報発信、NPO博等のイベント参加によりと啓発活動により、地域猫や適正飼育に関する知識の普及につながった。</li> <li>・保護猫の譲渡活動により、新たな飼い主との出会いを生み、市民生活の充実や動物福祉の向上に寄与した。</li> </ul>
<p>来年度に向けた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数の増加に伴い、捕獲や保護、通院などの対応に必要な人手や時間の確保が課題となっているため、ボランティアの参加促進や役割分担の整理を進める必要がある。</li> <li>・飼い主のいない猫の繁殖を防ぐため、地域住民への啓発活動を引き続き行う必要がある。</li> <li>・保護猫の譲渡を進めるため、SNS やイベント等を活用した情報発信を継続するとともに、譲渡会の実施など譲渡機会の拡充を図る必要がある。</li> <li>・地域からの相談や新たに出現する猫への対応のため、継続的な見回りや状況把握を行い、早期対応ができる体制づくりが必要である。</li> <li>・活動を継続するための医療費や飼養費の確保が課題であり、寄付やグッズ販売など自己財源の確保にも引き続き取り組む必要がある。</li> <li>・今後も行政や地域住民と連携しながら、持続可能な地域猫活動の体制づくりを進めていく必要がある。</li> </ul>

# あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業名： ながはま地域猫の会

## 1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	273598	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	0	
事業収入	103167	バザー売上
寄附金収入	200476	個人による寄附
その他	0	
合計	577241	

## 2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費	0	
旅費	0	
消耗品費	184108	餌、砂、術後服、消毒薬等 (対象外 12円)
燃料費	0	
食糧費	0	
印刷製本費	0	
通信運搬費	0	
広告料	0	
保険料	0	
手数料・委託費	393133	治療費
使用料・賃借料	0	
原材料費	0	
備品購入費	0	
合計	577241	(補助対象経費 577,079円)

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。